

消化器外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	肝胆膵外科治療における栄養とリハビリプログラムの有効性
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	消化器外科
研究責任者	(職名) 講師 (氏名) 深見保之
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	肝胆膵外科治療において、栄養とリハビリプログラムの重要性が注目されています。当院で肝胆膵外科治療を受けた患者の、栄養とリハビリプログラムの有効性を検証し、最適な栄養評価指標とリハビリプログラムを確立することを目的としています。
対象となる患者さん	2010年1月から2019年12月までに当院にて肝胆膵疾患のため外科治療を受けた患者さん
研究の方法	2010年1月から2019年12月までに当院にて肝胆膵疾患のため外科治療を受けた患者さんの過去のデータから、術前アルブミン値などの栄養指標とリハビリプログラムの内容を抽出し、術後短期長期成績との相関を解析します。 詳しい研究計画及び研究の方法に関する資料を入手や閲覧することができます。ご希望の場合は、下記問い合わせ先にご連絡下さい。
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2023年12月31日
研究に用いる試料・情報	情報：【術前アルブミン，総コレステロール，リンパ球数，手術で摘出した標本における病変の腫瘍径と腫瘍個数】
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
その他	
問い合わせ先	愛知医科大学

医学部外科学講座

担当者：(職名) 講師 (氏名) 深見保之

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1

電話 0561-62-3311 (内線 22121)